

在デンバー総領事館からの注意喚起（犠牲祭期間等）

- ・9月12日（月）から9月15日（木）頃までは、イスラム教の犠牲祭に当たります。
- ・この期間中やその前後に海外に渡航・滞在される方は、以下を参照し、テロ事件等不測の事態に巻き込まれることのないよう、最新の関連情報の入手に努めてください。

コロラド州，ニューメキシコ州，ワイオミング州，ユタ州にお住まいの皆様及び旅行者の皆様へ
在デンバー日本国総領事館

1. 9月12日（月）から9月15日（木）頃までは、イスラム教の犠牲祭（イード・アル＝アドハー、一部の地域ではクルバンやタバスキとも言われます。）に当たります。犠牲祭は、イスラム教徒によるサウジアラビアの聖地メッカへの大巡礼が終わりを迎えるイスラム暦12月10日から3-4日間行われ、この間、イスラム圏の国々では休日となります。また、欧米諸国等の非イスラム圏においても、イスラム教徒が多数居住する地区等では、犠牲祭にかかわる宗教行事が行われることがあります。犠牲祭に際して、イスラム教徒は、神（アッラー）への捧げ物として、羊、牛、山羊などを屠り、貧しい人々と分け合うことが習慣となっています。
2. テロの脅威に関しては、現在のところ、犠牲祭に際してテロの実行を呼びかける声明などは確認されていません。しかしながら、イスラム教徒にとってもう一つの大きな宗教行事であるラマダン月に際してテロを呼びかける声明を発出するなど活発な活動をしていたI S I L（イラク・レバントのイスラム国）の広報担当幹部の「殉教」が最近発表され、その報復テロのおそれも排除できません。また、本年の9月11日は、2001年の米同時多発テロの15周年にあたります。これらを踏まえ、念のため、テロへの注意を強化する必要があります。
3. つきましては、犠牲祭期間中やその前後に海外に渡航・滞在される方は、従来以上に安全に注意する必要があることを認識し、外務省が発出する海外安全情報及び報道等により、最新の治安情勢等、渡航・滞在先について最新の関連情報の入手に努めるとともに、改めて危機管理意識を持つよう努めてください。テロ、誘拐等の不測の事態に巻き込まれることのないよう、特にテロの標的となりやすい場所（モスク等宗教関連施設、政府・軍・警察関係施設、欧米関連施設、公共交通機関、観光施設、デパートや市場等不特定多数が集まる場所等）を訪れる際には、周囲の状況に注意を払い、不審な人物や状況を察知したら速やかにその場を離れる等、安全確保に十分注意を払ってください。

詳細は、外務省海外安全ホームページをご参照ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pwideareaspecificinfo.asp?infocode=20160244>

(問い合わせ窓口)

○在デンバー日本国総領事館

住所：1225 17th Street, Suite 3000, Denver, CO 80202

電話：303-534-1151

○外務省領事サービスセンター

住所：東京都千代田区霞が関 2-2-1

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 2902, 2903

「たびレジ」簡易登録された方でメールの配信を停止したい方

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/simple/delete>